



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	32,803.47	76.65	0.23	-0.13	-9.73	36,338.30
NASDAQ	12,657.56	-63.02	-0.50	2.15	-19.10	15,644.97
日経225	28,175.87	243.67	0.87	1.35	-2.14	28,791.71
上海総合	3,227.03	37.99	1.19	-0.81	-11.34	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,156.91	55.37	1.35	-0.32	-15.86	4,940.37
ハンセン	20,201.94	27.90	0.14	0.23	-13.66	23,397.67
中国企業	6,902.18	22.49	0.33	0.24	-16.20	8,236.35

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.2%高と反発、上海総合指数は0.8%安

香港市場ではハンセン指数が週間で0.2%高と反発。ペロシ米下院議長の台湾訪問による米中関係の悪化や台湾有事を警戒したリスク回避の売りで週前半に急落する場面もあったが、後半は総じて買い戻し優勢の展開となった。米国の景気後退懸念が和らいだ4日は2%超の大幅高。5日は米雇用統計の発表を前に様子見気分が強まった。本土市場では上海総合指数が週間で0.8%安と続落。台湾有事を意識してリスク回避の売りが広がったが、値ごろ感の出た銘柄には買い戻しが入り、週末にかけて持ち直した。

今週の展望:香港市場はしっかりの展開か、米物価指標の発表に注目集まる

香港市場はしっかりの展開か。中国のコロナ感染者の再拡大や台湾有事への警戒感がくすぶるものの、中国政府が不動産市場の安定重視に舵を切ったことは大きな支援材料。米雇用統計を受けて9月のFOMCで0.75%の大幅上げが続く公算が大きくなったが、週内に発表される物価指標次第では再び0.5%の利上げ予想が盛り返すことも考えられる。決算発表が本格化するなか、個別物色の流れも強まりそうだ。本土市場もしっかりの展開か。コロナ感染者の再拡大には警戒が必要だが、景気支援策への期待が相場を支えそうだ。

▼今週の期待材料

- ◆7月の中国の貿易統計で米ドル建て輸出は市場予想を上回る18.0%増、伸び率は3カ月連続で加速
- ◆中国で不動産規制緩和の動きが続く、住宅ローンの基準となる5年物最優貸出金利の引き下げ観測強まる
- ◆10日に7月の米CPI発表、物価上昇が落ち着けば利上げペースを緩めるとの観測が浮上する可能性も

▼今週の懸念材料

- ◆ペロシ米下院議長の訪台きっかけに台湾有事への警戒感強まる、中国は米国に対して8項目の制裁措置を発表
- ◆米国の7月雇用統計が予想を上回る強い結果に、9月のFOMCで0.75%の利上げの可能性高まる
- ◆中国の新型コロナ感染者が再び増加傾向に、海南省三亜の都市封鎖で観光客約8万人が足止め

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車(00175)	17.84	15.10
2 舜宇光学科技(02382)	117.40	10.65
3 SMIC(00981)	17.90	9.28
4 九龍倉置業地産(01997)	37.80	8.31
5 創科実業(00669)	94.00	7.98
6 バドワイザーAPAC(01876)	22.90	5.29
7 JDドットコム(09618)	245.40	4.96
8 美团(03690)	183.50	4.08
9 HSBC(00005)	51.10	3.44
10 李宁(02331)	65.35	2.75

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 碧桂園服務(06098)	14.68	-16.02
2 碧桂園(02007)	2.71	-10.56
3 中升集団(00881)	41.60	-7.25
4 信義光能(00968)	12.40	-7.05
5 ヘトロファイ(00857)	3.43	-6.03
6 レノボグループ(00992)	7.15	-5.80
7 CNOOC(00883)	9.51	-4.90
8 ネットイース(09999)	137.90	-4.70
9 中国蒙牛乳業(02319)	34.85	-4.26
10 万洲国際(00288)	5.70	-4.04

▼今週の主なイベント

- 8月10日(水)
- 【中国】物価統計(7月)
- 【米国】CPI(7月)
- 8月11日(木)
- 【米国】PPI(7月)

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ キャセイ・パシフィック (00293) : 10日に6月中間決算を発表、会社予想は赤字縮小
- ☆ チャイナ・モバイル (00941) : 11日に6月中間決算を発表、市場予想は5%増益
- ☆ レノボグループ (00992) : 10日に4-6月期決算を発表、市場予想は7%増益
- ☆ 利福国際 (01212) : 8日に株式取引を再開、筆頭株主が株式非公開化を計画
- ☆ 広州汽車集団 (02238) : 7月の新車販売台数が22%増加、新エネ車は138%増
- ☆ 紫金鉱業集団 (02899) : 12日に6月中間決算を発表、会社予想は91%増益の見通し
- ★ 味千中国 (00538) : 6月中間決算は新型コロナによる打撃で赤字転落の見通し
- ★ 中国海外発展 (00688) : 7月の不動産販売額が23%減少、販売面積は24%減
- ★ SMIC (00981) : 11日に4-6月期決算を発表、市場予想は31%減益
- ★ 遠洋集団 (03377) : 7月の不動産販売額が13%減少、平均販売価格は14%下落

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。